

**民主党小沢代表の“開き直り”辞任——金権体質では、自民党とつり二つ！——**  
**景気・暮らしに役立たない補正予算案——消費税増税反対！雇用を守り、福祉の充実を！**  
**ご近所のみなさん、日本共産党です。**

民主党の小沢代表が、西松建設の違法献金疑惑に居直って、代表を辞任しました。一方、国会では、景気にも暮らしにも役立たない、十四兆円にもぼる、補正予算案が、衆議院を通過。また、外国の基地づくりにも、日本の国民の血税をつぎ込む、沖縄の米海兵隊グアム「移転」協定が、衆議院の議決優先で、承認されました。

四ヶ月以内に必ず行われる総選挙をめぐる、政局がめまぐるしく動いています。

今日は、これらの問題についてふれながら、政治の中味を変える、**日本共産党の見解と、取り組みの一端を、お話ししたいと思います。ご協力をよろしく願います。**

**みなさん。**

民主党・小沢代表が、世論に押されて、代表職を辞任しました。

ところが、西松建設の違法献金疑惑について、「一点のやましいところもない」と、開き直る始末です。選挙に不利か有利かだけが、判断基準では、あまりにも、**国民を馬鹿にして**いるのでは、ないでしょうか。

疑惑の中心は、準大手ゼネコンから、巨額の献金を受けながら、政治団体から受けたように偽装して、国民を欺いてきたのではないか、ということ。そもそも、何のために、西松建設側から、お金を貰い続けてきたのか、ということ。です。

小沢氏と民主党が、疑惑にフタをして、説明責任を果たさそうとしないのは、金権体質において、民主党と自民党が、同じ立場だということでは、ないでしょうか。

日本共産党は、参議院における補正予算案の審議に際して、各党が、西松建設関係者を国会に呼ぶなど、疑惑解明に全力を尽くすことを、強く要求します。

**ご近所のみなさん。**

日本共産党と労働組合などが実施する、埼玉版「派遣村」・各地の“生活・労働相談”には、深刻な相談が相次ぎ、みんなで力を合わせて、解決のために力を尽くしています。

派遣切り”にあつて、仕事も、住む家もなくなった方、中には、手持ちのお金が底をついた方もいました。

一方、労働組合に入つて、たたかいに立ち上がった方もいます。

こうしたなか、**宇都宮地裁栃木支部**が、いずゞ自動車栃木工場の、不当な「非正規切り」について、**労働者の訴えを全面的に認める**、決定を出しました。**契約期間途中の解雇は不当**であり、賃金を六〇%もカットする休業命令も不当であると、決定したのです。

“人間使い捨て”の、「非正規切り」を強行する、大企業に対する、初めての断罪です。巨額の内部留保を抱える、大企業に、雇用を守る、社会的な責任を果たさせるために、力を合わせようではありませんか。

**みなさん。**

麻生内閣と、自民党、公明党は、〇九年度予算を通した直後に、しかも、十四兆円にもぼる、総額先にあるという、問題だらけの補正予算案を強行しました。

大企業による「ハケン切り」など、雇用破壊をやめさせる立場は全くなくて、逆に、大型公共事業と減税で、大企業に大盤振る舞いをするという、内容です。

国民向けとはいえば、三歳から五歳の子どもだけを対象にした、一回限りの給付金や、雇用保険の給付が受けられない方への、三年限りの支援など、一時的なばらまきばかりです。しかも、国の借金のツケは、消費税増税で、国民にかぶせるというのですから、景気にも、暮らしにも、役立たないのではないのでしょうか。

経済政策を、**家計応援**に切り換えるために、日本共産党を、よろしく願います。